

STAND UP!

うちなだ議会だより Vol.101
平成22年4月27日

3 月定例議会 2
予算審議会 Q&A・新規事業ピックアップ 4
委員会レポート10
一般質問 -11人が登壇-12
ありゃーどうなったがいね～23
突撃！街かどインタビュー 中川 進さん（向粟崎）24



新一年生のみなさん ご入学 おめでとう！（大根布小学校）

発行 石川県内灘町議会

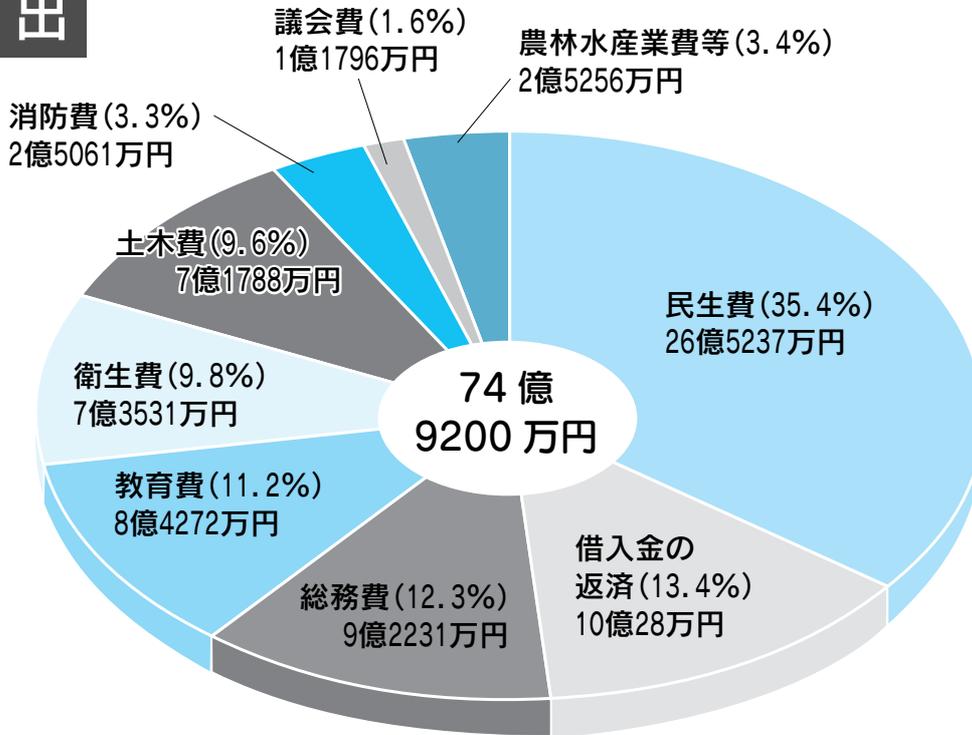
3月

定例議会

3日～19日

を可決!!

支出



平成22年第1回定例会が開催され、平成21年度補正予算7件、22年度予算8件のほか、条例6件、石川中央広域圏の廃止、請負契約の変更の23件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、固定資産評価審査委員会委員1名の選任に同意しました。



役場庁舎でのグリーンカーテン

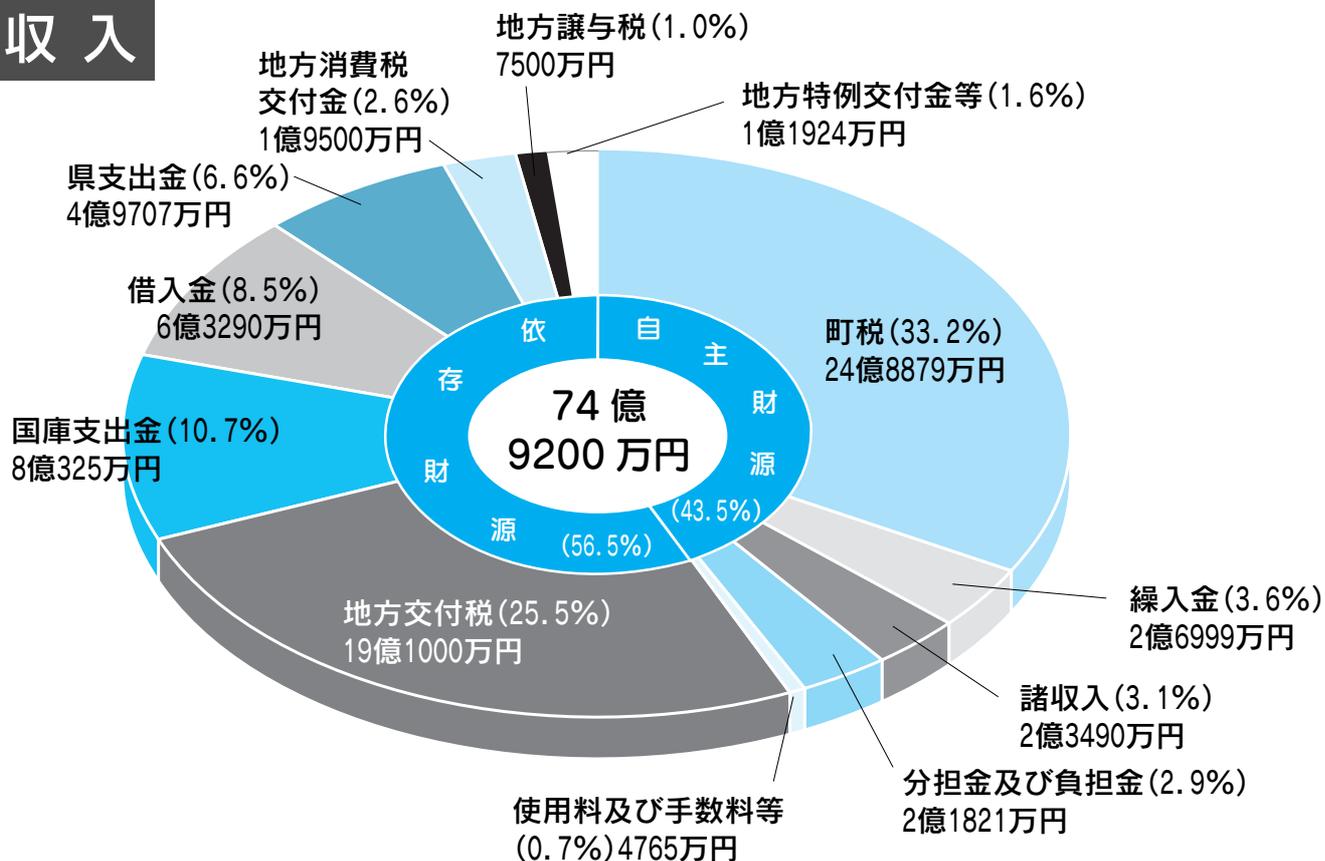
平成22年度特別会計

総額 57億9,269万円

会計名	予算額	前年度比	採決の結果	
特別会計	公共下水道事業	11億9,000万円	△13.6%	全員賛成
	新エネルギー事業	3,300万円	4.9%	//
	国民健康保険	24億5,220万円	△5.6%	//
	老人保健	2万円	△98.7%	//
	後期高齢者医療	1億9,180万円	3.7%	//
	介護保険	12億1,310万円	0.5%	//
水道事業会計	7億1,257万円	△5.1%	//	
合計	57億9,269万円	△5.9%		

総額74億9,200万円

収入



町の貯金と借金 (平成21年度末見込)

※平成22年3月末の人口 26,749人

基金（貯金）の残高		地方債（借金）の残高	
財政調整基金	4億6,598万円	総務関連事業債	8億9,433万円
公用、公共用施設整備基金	1億9,391万円	民生関連事業債	2億8,369万円
義務教育施設整備基金	1億5,802万円	衛生関連事業債	6,729万円
(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金	1億2,080万円	土木関連事業債	25億5,541万円
土地開発基金	1億193万円	教育関連事業債	21億67万円
その他の基金	1億6,940万円	臨時財政対策債	25億7,985万円
一般会計基金の計	12億1,004万円	その他の町債	7億963万円
町民1人あたり	45,240円	一般会計町債の計	91億9,087万円
特別会計の基金	7,898万円	町民1人あたり	343,600円
		特別会計の町債	100億5,936万円
		水道事業の町債	9億5,145万円

74億9千万円をどう活かすのか

22年度予算を集中審議するための、予算審議会を3月10日と11日に開催しました。
総額74億9200万円の予算案に対し活発な質疑を応酬。主な質疑の内容を要約してお伝えします。

新規事業を ピックアップ

庁舎エコ改修事業
に2200万円

太陽光発電設備、グリーンカーテン設置等

保健センター
耐震補強工事に
2100万円



耐震工事される保健センター

地域連携事業の内容は

56万円



室公民館の交流

Q 住民交流委託事業負担金の内訳内容を聞く。

A 金沢市と行政連絡会を結んでおり、凧揚げ大会、文化祭での文化交流、女性会での交流を各団体に委託している。

また、北陸新幹線開業に向けた会議の負担金では、観光部会、農産物特産品部会、もてなし部会の3つの活動をしている。

内灘公民館管理費 減額の理由は

441万円
↓
38万円

Q 内灘公民館管理費のうち、修繕費等が21年度は441万円、6000円だが新年度は38万7000円となっている。

A 例年、内灘公民館の修繕費も合わせて計上しているが、新年度当初予算については21年度3月補正においてきめ細やかな交付金を用いて修繕するため減額となる。



町文化会館

恋人の聖地 モニュメントの設置は

150万円

Q 恋人の聖地振興事業費150万円の内訳は。モニュメントはどこにどういうものを考えているのか。

A 活動費で50万円、モニュメントの設置費用は100万円、道の駅放水路側にウッドテラスを設置すると聞いている。



道の駅に設置された東屋

生命と財産を守る 救急救命士

248万円

Q 現在、救命士は何人いて、町の規模から何人が必要か。

子ども手当に

5億5900万円

そのうち児童手当分は1億9100万円（町負担…5300万円）

水銀灯改修工事

（LED化）に

300万円

医科大通り交差点の一部街灯をLEDに改修



街灯をLEDに更新

公園の改修に

2000万円

13公園の遊具やベンチ等を改修

その他の新規事業

町長車リース 107万円

7人乗りハイブリッド車

防犯パトロール車購入費 316万円

10人乗りワゴン車

羽幌町姉妹都市提携調印
30周年記念式典事業 199万円

特別旅費等（15人分）

旅順口区訪問事業 133万円

特別旅費等（5人分）

子どもの任意予防接種助成事業 66万円

おたふく、水痘、ヒブ 0～3歳（H23～0歳のみ対象） @各1,000円助成

人間ドック助成金（一般会計）
7割相当助成 120万円

手話通訳者設置事業 38万円

手話通訳者を役場庁舎内に設置（月2回程度）

農業振興地域整備計画委託料 220万円

農用地利用計画及びマスタープランの変更等

放水路法面景観整備工事 100万円

景観に優れた植物を放水路法面に植栽し、観光地としてPR

小濱神社・着弾地観測所跡通路土地購入費 289万円

通路整備工事は町土地改良区が施工

企業誘致業務委託料 100万円

企業誘致に関する随時調査費用

地震防災マップ作成業務委託料 450万円

「ゆれやすさマップ」、「地域の危険度マップ」を作成

栗崎遊園・内灘闘争記録データ使用料 50万円
歴史民俗資料館での説明用



リサイクルステーション

リサイクル助成金

減額の理由は

Q リサイクル推進交付金とリサイクル育成助成金がそれぞれ50万円減額の理由を聞く。

A 町内全体のごみ収集量が減少し、リサイクル品が増加し、売却収入があるため減額した。

600万円
↓
500万円



昨年の震災訓練

A 現在救命士は9人だが、活動を行なっているのは6人。非常時の補充を含めて常時7人が必要で、常時補充体制をとっていかないと救急隊員が確保できない状況である。

平成21年度一般会計補正予算

一般会計は1億4398万円を減額し、総額85億1936万円となりました。(全員賛成)

会計名	補正額	補正後の予算総額	
一般会計	△1億4,398万円	85億1,936万円	
特別会計	公共下水道事業	1,050万円	16億7,987万円
	新エネルギー事業	0円	3,896万円
	国民健康保険	5,906万円	26億8,648万円
	後期高齢者医療	△514万円	1億8,072万円
	介護保険	△407万円	12億4,614万円
水道事業	△680万円	7億4,479万円	
合計	△9,043万円	150億9,632万円	

●主な内容

保健センター調理実習室 設置工事 1,281万円

保健センターの機能強化のため調理実習室を設置する。

体育施設修繕工事 769万円

プール監視カメラ取替3台分
総合グラウンドトラック修繕等。

温水プール屋根修繕工事 477万円

屋根部分の鉄骨の塗装。
ガラス張り全体のコーキング。

地区公民館施設改修工事 452万円

クロス張替え、畳換え、トイレ修繕等。

給食センター設備・機器 修繕工事 200万円

調理用機器、設備、プレハブ冷凍庫、配管等
修繕。

サイクリングターミナル 屋根修繕工事 270万円

本館屋根の防水水切修理及び外部巾木部分修理。

文化会館施設改修工事 147万円

2階トイレの洋式化、ベビーシートの取り付け等。

消防第3分団格納庫外壁 補修工事 129万円

11年経過した外壁に亀裂が入り、雨漏りが
生じているため合板を張り付け、補修。

雨水ポンプ場水中ポンプ 分解整備工事 1,200万円

大根布第2、第3ポンプ場主ポンプのオー
バーホール。

清湖小学校プール改修工事 609万円

プール内の塗装が剥離し、児童が怪我をする
等危険なため、改修する。

給食センター備品購入 449万円

コンテナ1台、和え物保存用冷蔵庫、食器
消毒保管庫購入。

向栗崎保育所遊具設置工事 346万円

老朽化し危険なため撤去された木製複合遊具
の代替として複合遊具キッズコンビを設置する。

サイクリングターミナル 備品購入 366万円

屋外飲食店舗型ユニットハウス、飲食スパー
ス備品、厨房機器。



サンセット号の利用案内

条例

サイクリングターミナル条例
福祉センター条例
両施設の入館料の改定

(全員賛成)
(5月1日から)

	現行	改正	比較
中学生以上	370円	400円	30円増額
小学生	150円	100円	50円減額
4歳以上	100円	100円	変更なし

職員の勤務時間等の条例

1週間当たりの勤務時間を40時間から38時間45分に改める改正
(全員賛成)

議会の議員報酬等の条例

特別職、教育長の給与、勤務時間等の条例

期末手当の支給率を改正し、引き続き特別職、教育長の給料額を2パーセント減額する改正
(全員賛成)

国民健康保険税条例

応能応益割合で、医療分と支援金分の所得割率を変更する改正
(全員賛成)

学童保育クラブ設置条例

鶴ヶ丘学童保育クラブを、第一と第二に分割する改正
(全員賛成)

契約の変更

総合公園大型遊具整備工事で、案内看板などを追加整備する

2億2417万円 ↓ 2億3005万円
(588万円増)
(全員賛成)



鉄棒できるかな



手を上げる 可愛い笑顔に 待つ笑顔

意見書を採択 議員提出

「核兵器のない世界」に向けた政府の責任を果たすことを求める意見書 (全員賛成)

◎提出議員 北川 悦子
賛成議員 北川 進
夷藤 満
恩道 正博

◎趣旨

1. 核兵器廃絶を主題とした国際交渉を開始することを世界に呼びかけること。
2. 核兵器保有国に対して、来年の国連・NPT（核不拡散条約）再検討会議で、核兵器廃絶を達成する「明確な約束」を再確認することを求め、その実現に向けて最大限の努力を行うこと。

子ども手当の全額国庫負担を求める意見書 (賛成13人、反対1人、棄権1人)

◎提出議員 藤井 良信
賛成議員 南 守雄
渡辺 旺
中川 達

◎趣旨

政府は、2010年度から「子ども手当」をスタートさせる。その財源は当初全額国庫負担と明言していたが、10年度限りの暫定措置とはいえ、一方的に地方にも負担を求める結論を出した。

しかも10年度の支給方法は、現行の児童手当を併給させ、変則で極めて遺憾である。また地方の意見を十分に聞くこともなく決定するのは、地方と国の信頼関係を著しく損なうものであり、「地域主権」という言葉とは裏腹な対応は誠に残念である。

よって11年度以降の子ども手当の本格的な制度設計には、当初明言していた通り、全額国庫負担とし、新しい制度としてスタートすることを強く求める。

本会議で採択した請願の趣旨に沿った意見書を、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出し、その実現を要請しました。

審査しました あなたの請願

継続審査

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する

2回目

(継続に賛成14人、反対1人)

後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を国に要望する

2回目

(継続に賛成13人、反対2人)

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める

1回目

(継続に賛成14人、反対1人)

◎請願者

石川県河北郡内灘町字千鳥台3丁目53番地

公明党内灘支部 地区委員 土屋 克之

◎紹介議員

藤井 良信

◎趣旨

1. 2025年までに「介護施設の待機者解消」を目指す。そのために、介護3施設を倍増させ、特定施設、グループホームを3倍に増やす。

2. 在宅介護への支援を強化するために、24時間365日訪問介護サービスへ大幅な拡充を行なうほか、家族介護が休息をとれるよう「レスパイト（休息）事業」も大幅に拡大する。

3. 煩雑な事務処理の仕分けを行ない、手続きを簡素化、要介護認定審査を簡略化し、すぐに使える制度に転換する。

4. 介護従事者の大幅給与アップなどの待遇改善につながる介護報酬の引き上げを行なう。

5. 介護保険料の上限が高くなりすぎないように抑制するため、公費負担割合を5割から、当面6割に引き上げ、2025年には介護保険の3分の2を公費負担でまかなう。

原因を追及！

1. 新年度予算案審議の議会全員協議会で、「地場産農産物加工品開発推進委託料」（1500万円×3年間＝計4500万円）活用の委託業者選定方法と議会への対応問題を追及した。

2. その結果、議会では「町が平成21年8月6日付けで委託業者との間に業務委託契約を締結するに至った経緯について町議会への報告を含め、委託業者選定と議会への対応に大きな問題があった」ことを認め、このことは「議会との信頼関係を著しく損なう問題である」とした。

3. 議会は議会最終日の3月19日開催の議会全員協議会で、こうした結果を報告すると同時に、

本会議での委員長報告では、町に対して「このような事態を引き起こした原因と今後の対策及びその責任の所在を明確にするよう」求めた。そして「この委託料を活用した事業への予算執行を停止することを申し入れる」とした意見を付し、新年度予算案を全員一致で議決した。

4. 3月29日に八十出町長より能村議長に対して、謝罪と下記の内容が文書で示された。4月1日に産業建設常任委員会は、その内容を確認し、能村議長が本件の終結を町へ伝えた。



提出された文書

1. 問題の原因

- (1) 毎議会終了直後に行なっている部長会（町長、副町長、教育長、部長級職員で構成）での重要課題の確認において本件を対象課題に入れていなかった。〔その時点での関係者の問題意識欠如〕
- (2) 議会の各会議議事録がありながらこれを後日確認していなかった。
- (3) 議会での約束事（職員の発言）についての進捗状況の確認がなかった。
- (4) 実際に事業委託を進めていながら関係者の誰もが議会対応についての気づきがなく、結果として議会での説明機会を逃してしまった。

2. 今後の対策

全てをルール化し、関係者全員がこのルールを励行することにより、本件に象徴されるような問題の再発を防止することを徹底する。

3. 責任の所在

今回の問題は、議会との約束を守らなかったことにより発生したものである。全ての責任は町長にあるが、これらの過程を管理する責任者は副町長としており、本人には厳しく注意すると同時に、今後、議会との信頼関係を確立するための効果的な方策を講ずるよう厳命した。

総務常任委員会

シルバー人材センター

へ指導せよ

Q シルバー人材センターの受注業務は、会員に広く業務が行き届くように指導すべきではないか。

A 業務の内容や場所等によって偏ることもあるが、会員に広く就業の機会を提供できるよう、事務所において願っていく。



町シルバー人材センター

Q 庁舎の太陽光発電パネル設置場所は、庁舎の景観に十分配慮せよ。

A 発電の効率化のため、パネル設置角度等を協議し、設計段階で検討する。

Q 計画した都市計画事業で、環境が変わり、止まっている事業は見直しをしないのか。

A 事業遂行に努力しているが、計画の見直しや先行取得した土地の利用方法・処分も検討していく。

Q 閉館した福祉センターの使用しない備品は、価値のあるうちに処分すれば良いのではないか。

A 他の施設で利用できるもの以外は、処分して収入にならないか所管部署と協議する。

文教福祉常任委員会

売店の営業は

Q サイクリングターミナル前に設置予定の屋外売店は平日も営業すればどうか。

A 今後、状況調査を行ない販売メニュー等も含めて検討したい。

Q なぜ保健センターに調理実習室をつくるのか。他の施設利用できないのか。

A 保健センターの調理実習室は、生活習慣病予防や母子保健での栄養指導等、健康づくりにおいては欠かせない必要性の高い施設である。平成22年度から町の食育推進計画に基づき事業が展開され、その利用頻度は拡大するものと考えられる。



急ピッチで進められる海賊船工事

Q 手話通訳者設置事業の委託先及び内容はどうなっているか。

A 委託先は、石川県聴覚障害者協会へお願いする。内容は、従来までは聴覚障害者の方から依頼があった場合に手話通訳者を病院等に派遣していたが、今後は、役場庁舎内に手話通訳者を月に2回配置して役場庁舎に来庁された聴覚障害者の利便性を図り、聴覚障害者の自宅を訪問し生活の支援をする。

産業建設常任委員会

町の水道料金はどうなる

Q 県水単価が約20円引き下げになると聞いたが、町の水道料金は。

A 県議会で決定すれば、町民の生活の安定につながる方向で料金の見直しを検討する。

Q 街灯の電球は環境にやさしいLED球にならないのか。

A 約100カ所ある街灯のうち、主要交差点から毎年5基程度を更新していく。

Q 県水について、知事が20円下げの方針を示しているが町長の考えは。

A 6月県議会を経て正式に決めることになる。

町もその方針に従いたい。

Q サンセットカードの取扱店は増えないのか。

A 現在約60店舗の加入だが、100店舗を目標に加入の促進をしている。

Q なぜ大型遊具に避雷針が必要となったのか。

A 当初設計には入っていないが、より安全性を重視し、追加で整備することとした。

委員会からの付帯意見

総合公園大型遊具整備事業について、利用者の安全対策は、当初より本委員会の指摘事項であったが、検討協議について議会への報告等の手続きに不備が認められたので、今後の事業実施にあたっては、議会との協議を重視するよう申し添えます。



現地への視察

議会運営委員会

議会運営委員会では、議会改革の一環として、3月定例会で傍聴に求められた方に、アンケート調査を実施しました。この結果を参考に、さらに開かれた議会、わかりやすい議会を求めていきます。

議会傍聴アンケート（集計 47人）

傍聴の形態

- ① 所属する団体と一緒に 11人
- ② 個人で 33人
- ③ その他 3人

● 議会の傍聴には

- ① 良く来る 20人
- ② ときどき 20人
- ③ 今回が初めて 7人

● 質問時間は40分以内としたが

- ① 非常に長い 2人
- ② 長い 13人
- ③ 普通 20人
- ④ 短い 1人
- ⑤ 非常に短い 0人
- ⑥ わからない 1人
- ⑦ その他 4人
- 無回答 6人

● 一般質問の一问一答方式はどうか

- ① 大変わかりやすい 4人
- ② わかりやすい 16人
- ③ 普通 11人
- ④ わかりにくい 2人
- ⑤ 大変わかりにくい 0人
- 無回答 7人

● 質問場所を中央にしたが

- ① 非常に良い 4人
- ② 良い 29人
- ③ 普通 6人
- ④ 悪い 2人
- ⑤ 非常に悪い 0人
- ⑥ わからない 3人
- 無回答 3人



議席中央に設置した質問席



南 和彦 議員

議会と融合させた実動組織が必要

連携と参画に理解と協力を 町長

「集積型専門学校」の誘致に疑問を抱く

南 大きな誘致案件では、諸整備等について県の理解が必要。

しかし県は投資的経費を削減している。税収が見込めない学校法人の「集積型専門学校」の誘致は、客観的な数値の根拠が示されていない。

どのような根拠をもって、県に理解を求めているのか。

財政効果だけで優劣は決められない

町長 まだ具体的な内容も定まっていない段階であるが、財政効果だけで企業誘致の優劣を決めるものではないと考える。

その上で現在策定中の都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画の中で、方向性を見出す。現在のスタンスとしては二者択一の判断の時期ではない。今後も県と協議を進めて行きたい。



アウトレットモールのイメージ

南 町の企業誘致は、北陸新幹線開業に向けて、地域間交流基盤の連携を強化する県や金沢市などの取り組みに精通した計画であるべきと考えるが見解を聞く。

町が現在進めている企業誘致案件は相対的にボリュームが大きい。専門部署を設置せよ。

町長 共存共栄や相乗効果が図れる独自の企業を誘致し、県の包括的地域経済活性化に寄与する計画が必要と考える。

また、町では22年度から専任の責任者を据えて部課を横断したチーム編成を行なう。

南 編成チームは誘致活動の展開にあたり、どのような業務を担うのか。

町長 北部開発における都市計画マスタープランの策定や、事務の調整機能の強化を図る。

南 昨今の多くの企業は在り方が複雑化しているため、交渉ではより高度な専門能力や交際力などが必要である。

議員は民間社会の現場をこなす中で、市場感覚に敏感であるため議会と融合させた実動レベルの組織を編成せよ。

町長 厳しい企業誘致の競争を勝ち取るために、議会との連携と参画に、理解と協力をお願いしたい。

南 現在「集積型の専門学校」と「アウトレットモール」が誘致案件とあるが、経緯と現況を聞く。

町長 つてをたどりながら情報収集を行なったが、それ以上の説明は企業情報配慮し控えたい。

南 誘致交渉が成立した場合、町への財政効果など、メリットを聞く。

まちづくり政策部長 「アウトレットモール」は年間約1億円以上の税収が見込まれる。

「集積型専門学校」は学校法人であれば税収は見込めない。



川口 正己 議員

国際メディカルツーリズム事業の参画を

協議して取り組みたい 町長

川口 現在、日本国内の観光地では、昨年9月に個人観光ビザが解禁された中国人富裕層が増えてきている。

この富裕層を本町に呼び込むため、経済産業省が推進している**国際メディカルツーリズム事業**に、金沢医科大学病院と連携し、参画してはどうか。

町長 町は金沢医科大学病院や関係機関と協議して取り組みたい。

町と友好交流のある呉江市と大連市旅順口区を候補地としたい。

また県や金沢市と友好交流のある江蘇省や、蘇州市などへも情報発信できないか調整に努めたい。

エンゼルネット事業に

参加できないか

川口 県は現在、18歳以下の子供が3人以上いる世帯に対してプレミアム・サポートを発行し、子育て支援を行なっている。

子育て応援エンゼルネット事業を昨年4月より、金沢、七尾、白山市をモデル地区として行なっている。町でもこの事業に早急に参加できないか。

サンセットカードも

含め検討

町民福祉部長 県は引き続き、同じ地区でモデル事業を継続する予定で、この検証結果を踏まえ、県内全体に広げる方針。

町は、県が県内全体で実施する段階で、町内商店の支援や利便性から、エンゼル券だけでなくサンセットカードも活かさないかも含め検討したい。

川口 今年のビーチ・ベースボール大会の開催予定や規模はどうなっているのか。

教育長 昨年度と同様に開催する方向で協議を行なっているが、詳細が決まり次第、お知らせしたい。

川口 若者と40才以上のシニアチームに分けて、予選を行なってもらいたい。

教育長 年齢区分を加味してはと言う意見があったことを町として申し出たい。

川口 毎年、元プロ野球選手など呼び、講演会や野球教室を開催できないか。

教育長 今後は、文部科学省が実施しているトップアスリート派遣指導事業の利用を検討していく。



昨年のビーチベースボール大会

国際メディカルツーリズム事業とは、地方自治体などが、人間ドックやがんなどの高度治療などと近隣の観光を結びつけ、国内大手旅行会社や海外航空会社とタイアップし、海外富裕層を呼び込む事業。

子育て応援エンゼルネット事業とは、ボランティア団体が読み聞かせなどさまざまな子育て支援を行なった場合に、その対価として疑似通貨のエンゼル券を受け取り、その券は協賛店で使える仕組みとなっている。



清水 文雄 議員

雇用と景気は最重要課題

今後真剣に考える 副町長

清水 内灘町は金沢市のベッドタウンで、全就労者の約80%が勤労者といわれ、町の最重要課題は雇用と景気をどうしているのかだ。しかし、そうした位置づけが示されていない。

それは失業者の実態や具体的数値など掴めていないことが原因だ。労働担当窓口を設けるべきだ。

副町長 労働行政ということでの取り組みはよくれていることは事実。

内灘町はサラリーマンが多い町でもあり、今後真剣に考えていかなければいけない。

清水 失業者数、失業者フリーター、高齢者、働く女性の意識を掴んで、町の政策に反映すべきだ。

副町長 調査方法を検討して、今後の雇用・失業者対策を組み立てていきたい。

清水 中高年齢者職業訓練奨励金は、本当に困っている人のために内容の充実を図るべきだ。

副町長 今の奨励金とは、別個の何か奨励するような仕組みを考えることが必要と感じている。

恋人の聖地

ナンバーワンを目指せ

清水 恋人の聖地を全国に発信をして町の活性化に向け、町民参加によって恋人の聖地ナンバーワンを目指して活動を展開するべきだ。

母体となるNPO法人の立ち上げがおくれている。現状と今後の展開のあり方を聞く。

4月に

NPO設立

町長 現在、商工会、観光協会などの各種団体や町民等で構成するNPO団体としての組織づくりが進められ、この4月を目標にNPOうちなだL O V E R Sを設立する予定。

町はにぎわいを創出するモニユメントの設置など、NPO活動を支援していきたい。

清水 07年の庁舎の設備管理費は、年間約6000万円だった。その後の推移はどうか。

町長 09年5020万円と年々減少している。

今後も縮減に向けて一層強固に取り組んでいく。
清水 新年度の削減目標とそのための施策を示せ。

副町長 庁舎内の維持管理費をどれだけ減らすかの設定はしていない。

清水 エコと同時に、経費の削減につなげていくのが当たり前であり、目標設定はすべきだ。

副町長 しつかりやっていきたい。

清水 町長が公約に掲げた3アップ1ダウンに向けた具体的な施策は何か。

副町長 町長の思いどおりに浸透しているとは言えない状況である。

清水 一時保育、病児保育室の利用者に、「子育てサービスクーポン」の助成制度を設ける考えは。

町民福祉部長 国の方向性を見きわめ、町の子育て支援施策の見直しも含め検討していきたい。



栗津の恋人の聖地



藤井 良信 議員

藤井 2月3日、内灘町は旅順口区との友好交流に関する調印を行なった。遠くは歴史文化の大国のくに中国、そして旅順との友好交流が報恩の歴史の出発点として発信され、永く継続されることを期待するが、持続可能な交流をとの観点から、今後どのような展開がなされるか考えを聞く。

町長 調印の基本合意に基づき相互理解を深め人的交流や経済交流の推進各種団体や民間組織による相互訪問を積極的に支持していきたい。

訪問の際には、より具体的な内容を協議し検討していく。

旅順口区 友好交流の展開は

基本合意に基づき交流を推進

町長



旅順口区の大連世界和平公園

介護福祉施策

現状と課題は

藤井 昨年、公明党議員団チーム3000による介護現場からの10万のアンケート調査が行なわれた。

その分析結果を踏まえて福祉施策推進との観点から、小規模多機能施設の整備と今後の課題は。

23年度事業計画の

中で検討したい

町民福祉部長 質の高いサービスと認識しているが、24時間体制のための介護職員の確保など安定経営には課題が多い。

平成23年度介護保険事業計画の中で、検討していきたい。

藤井 介護従事者の育成、町の取り組みを聞く。

町民福祉部長 在宅介護のための講習会を開催しており、現在50名の方が受講されている。

藤井 介護予防の取り組みはどうか。

町民福祉部長 能力アップと認知症予防に効果的な日舞体操N.O.S.Sの普及啓発を推進している。

藤井 町では要介護、調査認定までどのくらいの時間を要するか。

介護福祉課長 平均24日間を要する。全国平均は38日間、14日間の日数短縮に努めている。

藤井 要介護認定・申請申し込み時点からのサービス利用の現状は。

介護福祉課長 仮認定での暫定サービスは本年度6件の利用実績があり適正な対応に努めている。

藤井 内灘町自転車安全利用条例制定を要望する。

総務部長 自転車利用者に対する安全施策の取り組みなど、現状と課題を見極め今後研究したい。

その他の質問項目

- 千島台第2公園横交差点信号機設置を
- 交通安全電光標識の設置について
- 交通安全総点検の実施を
- 準幹1号沿線の桜並木形成と、ガードフェンスの設置を



八田外茂男 議員

北部土地地区画整理組合の早期清算を

12月解散総会を開催する

都市整備部長

次の段階に
行くべきだ

八田 昨年町は、北部土地地区画整理組合の保留地である商業地を2億7000万円で購入し、事業の推進をしてきた。

町は、議会に対して相談をしながら事業を進めていくというが、相談がほとんどない。

都市整備部長 昨年末に開催された役員会において、平成23年3月末に解散総会を開催する予定が協議された。

その後、組合解散推進委員会は、一日も早い解散をめざし、年度末でなく12月に解散総会を開催するとしている。

この件は、3月定例会の産業建設常任委員会に報告を予定している。

八田 組合の物件費、会議費、通信費、PR費等、年間維持管理費は、

都市整備部長 平成21年度予算は、合計5371万円となる。

(左表参照)

比較	金額
平成21年度 組合の予算合計	5,371万円
町が管理した場合	530万円
差額	4,841万円



町の命運を握る北部開発事業（組合事務所）

八田 白帆台の道路及び公園緑地の管理を町が行なった場合、幾ら予算がかかるか。

都市整備部長 除草と電気料等の経費で合計約530万円相当を予定している。

八田 組合の中の予備費と保留地処分の地面は何筆で、資産として幾らの見込みか。

都市整備部長 予備費は約7億6900万円。保留地は10筆で、処分金は約1億2000万円。

八田 予備費として7億6900万円、プラス10筆の保留地が売れば、これプラス1億2000万円。少なくとも8億900万円になる。

組合が余剰金をどう配分するのかわからないが、一日も早く、町と議会が一致して次の段階に行くべきだ。

**主体は地権者
解散に向け指導**

町長 この組合の主体は地権者である。組合に対して、一日も早く解散に向けて努力しようと役員会で申しあげている。

これからも指導し、できる限り県住宅供給公社とも連携をとりながら頑張っていきたい。ぜひ議会も協力をお願いする。



水口 裕子 議員

砂利採取の情報が公開されていない

抵触しない範囲内で公開 都市整備部長

水口 トーチカ跡周辺の砂利が採取され景観が変わってしまった。砂利採取はどこまでが許可されるのか。

内灘町砂利採取審議会 条例の前文では、砂丘地保護に努めることを宣言している。町の貴重な歴史遺産への入り口で砂利をとることにについて、審議の過程が公表されていない。

都市整備部長 認可権者は県であり、砂利採取認可申請には個人情報や企業活動の情報が含まれるので公開していない。

町は、情報公開条例に抵触しない範囲で公開をしていきたい。

水口 着弾観測所での道路整備に千坪の土地を買って道路整備をする必要性が明らかにされていない。

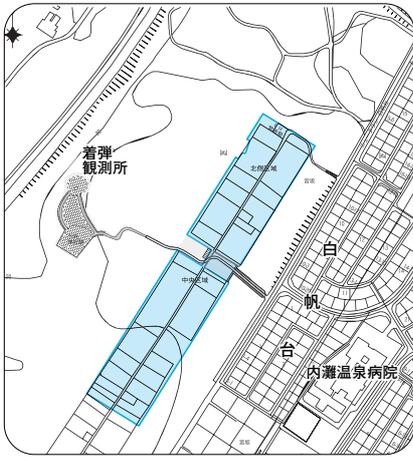
都市整備部長 今回町が用地を取得し、町土地改良区の負担で工事を行う。

水口 町の公共施設にある飲料水の自販機22台の総消費電力は。

総務部長 22台で4万5000kW。庁舎内の5台で1万5000kWを消費。

水口 それは一般家庭の10数軒分の電力消費量となる。体育施設以外の自販機は撤廃すべきだ。

総務部長 災害対応型や環境に配慮している。利用者も多く、サービスは継続する。



砂利採取の周辺位置図

水口 環境の町を目指すなら、**高効率給湯器**よりも自然エネルギー利用の太陽光温水器を導入せよ。

環境政策課長 屋根に太陽光発電設備と温水器の両方を設置することは不可能なので見送った。



町史跡付近での砂利採取

高効率給湯器とは、地球環境保全に貢献するといわれているエコジョーズ(灯油)、エコキュート(電気)、エコウイル(ガス)などのことを指す。

条例を

制定すべき

水口 以前は、個人的な要望を実現してくれる議員がよく働く良い議員と思われてきた。

本来、正当な要求であるならば公平公正に受けとめられることから要望事項を記録し、公開できる条例を制定すべきだ。

記録の

徹底を図る

町長 できる限り要望書の提出をお願いし、電話や口頭では記録の徹底も図りたい。

その他の質問項目
■ 食育の取り組みは

町武道館の耐震改修を

早急にとりかかりたい

教育長



生田 勇人 議員

生田 現在「義務教育施設に準ずる施設」として町総合体育館の耐震改修に着手しているが、それに隣接する町武道館も、体育授業や部活動で使用されており、同等の施設である。

昭和51年竣工で**新耐震基準**に適合しておらず、生徒児童の安全安心のためにも早期に耐震診断を実施し、改修に向けて取り組む。

教育長 新学習指導要領により平成24年4月から武道が正課の授業として用いられ、内灘町武道館は「義務教育施設に準ずる施設」になると認識する。

耐震診断に早急に取りかかり、耐震補強が必要ならきつちりと補強する。平成24年4月には耐震改修を終え、安全に授業を行なえる状況をつくりたい。



内灘町武道館は大丈夫か

生田 耐震とあわせて、バリアフリーや省エネ対策、利用者のニーズを取り入れ、改修する考えは。策を選択したい。

教育長 一体的に対応できるように財源の効率的な使用も加味して最善の方策を選択したい。

フルインター

計画を示せ

生田 白帆台地区で専修学校の集積やアウトレットモールの誘致計画が取りあげられている中、以前に町が示した権現森内の現道を利用し、団地の中央を車が通過する片側ハーフIC計画は交通問題上支障はないか。交通量を予想し、フルICとする必要性があると考えが見解を問う。

新たな場所で

早急に計画

町長 金沢方向昇降のハーフICは、白帆台への定住促進のために必要と計画してきたが、大きなプロジェクトが予定されると交通の混雑が予想され、現在計画のハーフICの位置での交通量の緩和は難しい。

新たな場所でフルICを早急に計画しなければならぬと考える。

生田 ハーフIC計画では約3億円規模の工事費だが、フルICではどれだけの金額となるか。

町長 現道を利用しない新たな場所にフルIC設置でおよそ10億円以上の費用が必要と認識する。

生田 県は「地元(町)負担による整備が前提」としているが、県側の負担補助も強く求めよ。

町長 県の宅地持分が半分ある以上、県の責任負担の要求は続けていく。

新耐震基準とは昭和56年6月、建築基準法の改正により定められたもので、震度6程度の地震にも倒壊を防ぐことを目標としている。

その他の質問項目

■町道幹8号宮坂西荒屋線と県道内灘高松線の道路整備について

予防医療で医療費削減を

施策を強力に推進する 町長

恩道 先日、夕張市の「希望の杜」へ視察を行なった。夕張市は高齢化率が高く、地域医療の取り組みとして病気になるための予防医療に力を入れている。その結果、1年間で2億8000万円の医療費が減少し、夕張の財政に大きく貢献している。町の取り組みは。

町長 生活習慣に起因する予防医療にウエートを置き、心身ともに健康で生涯現役で人生を謳歌することが幸せの源であるとの信念から、今後とも健康増進の施策を強力に推進する。

恩道 国の特定健診、保健指導の目標値が平成24年度で、それぞれ65%、45%となっているが、目標達成に向けた具体的な施策は。

恩道 町は健康増進のため、平成17年度から19年度にかけてヘルスアップ事業(メタボの減少)に取り組んだ。具体的な内容とその結果は。

健康推進課長 31人の参加で、血圧や中性脂肪、血糖、LDLコレステロールなどの値は体重の減少とともに改善された。糖負荷試験の結果は、糖尿病型が8人から6カ月後には2人に減った。

地域医療の確立へ 条例制定を

恩道 町民と医療機関相互の機能分担、行政と町民、それと医療機関相互の協働による地域医療の確立が重要だ。

医療と保健及び福祉の密接な関係を図り、健康長寿を推進するための条例を制定する考えは。

研究を重ねる

健康推進課長 地域医療の確立を推進するための条例制定の必要性は低いと考えるが、健康長寿を推進するため、今後研究を重ねていきたい。

希望の杜とは金沢医科大学医学部卒の村上智彦先生が理事長を務める北海道夕張市の診療所。



恩道 正博 議員

健康推進課長 健診受診率は、20年度は29・2%、21年度は暫定で34・3%で目標の32%を上回った。保健指導実施率は、20年度は38・2%、21年度は暫定で41・2%で目標の20%を上回った。

恩道 町で平成20年度から行なわれた特定健診と保健指導の実績はどのような結果になったか。

健康推進課長 21年度は向陽台、宮坂、千鳥台をモデル地区として行なった結果、受診率が向上した。平成22年度は全地区で受診の啓発教室開催を計画している。



村上先生から説明を受ける



北川 悦子 議員

保育所の今後はどうなる

向栗崎保育所を基幹保育所とし維持

町長

北川 国保の短期被保険者証を1カ月以上、とめ置きしている世帯への12月議会以降の連絡は。

健康推進課長 自宅を訪問したが、連絡がとれない世帯が10世帯ある。

北川 滞納住民税の徴収を県税事務所に移したため、振り込まれた給与を一方的に差し押さえ強制執行となった。

税滞納者への対応を問う

北川 ほのぼの湯の回数券を求めやすい5回にできなにか。

北川 今後予定されている千鳥台、鶴ヶ丘保育所の定員に変更はあるのか。

北川 県営住宅前林帯の鶴ヶ丘地区候補地は現在どこまで進んでいるのか。

町立保育所は現在の6カ所から2カ所に激減となる。

町民生活課長 町林帯は市街化調整区域であり法的な縛りが多く、調整中。

一方所でも町立として残す考えはないのか。

北川 町保育所の正規、嘱託、パート職員数は。

町長 千鳥台地区に120人、鶴ヶ丘地区に150人規模の保育園を計画している。

町長 正規27人、嘱託23人、パート78人となっている。

整備費補助金や運営費の一般財源化で公立保育所の運営は非常に厳しい。

北川 町保育所における今後の人員計画を問う。

向栗崎保育所は、基幹保育所として保育内容の向上、子育て支援など行政の役割と課題を解決する施設として維持する。

町長 正規職員の配置が一番よいが財政的理由により難しい。保育サービスの充実を図っていく。



春の陽気に誘われて（向栗崎保育所）

きめ細かく

対応している

税務課長 21年度は14件で、半分が完納し、分割納付の道筋がついたと報告があった。

町は早期に滞納者の実情の把握に努め、納税方法の相談など、夜間も対応している。

自主的な納付を促す努力を繰り返し実施する。

北川 職員と同等の仕事をしている。通勤費の支給は当たり前でないか。

人事秘書担当課長 月額賃金に通勤手当も含め算定し、近隣市町より高く総額を設定している。

北川 町嘱託職員に通勤手当が出ていない。対象となる2キロ以上の方は何人で、支給概算額は。

人事秘書担当課長 現在105人中対象は42人で月額14万8000円、年額178万円となる。



夷藤 満 議員

アニメで感性を養え

環境をつくりたい

教育長

夷藤 町の未来の宝、日本の宝といえる子どもが、人を思いやる心、優しい心、強い心を持ち、友達を大切にできる人になってほしい。そんな思いから、道徳の授業や特別活動の時間に、大人から子どもまで感動でき、心を打たれ涙するアニメを取り入れて、子ども達の感性を養う考えはないか。

教育長 感動的なアニメは、子どもの心を育てる教材として適切だ。しかし授業に取り入れるとなると、小学校の場合は、授業の構成上難しい。長編の中で、どの部分をどんなふうに使えるか研究したい。なお学校図書室にビデオやDVDを設置することは可能なので環境を作りたい。

夷藤 県外の中学生がじめにより自ら命を絶つたことが報告された。昨年度も自殺者が全国では3万人を超えている。

全国では3万人を超えている

教育長 読書は空間を越えた感動や感激を教えられる。映像、デジタルに訴えるものも感性を豊かにするものだ。

命の尊さが

叫ばれている

町長 命の尊さが叫ばれている今日に、みずから命を絶つというのではない。行政はあらゆる手段で取り組む。



アニメで感性豊かな心を

夷藤 台風やインフルエンザなど休校になった場合に、道徳の時間を他に振りかえていけないか。

教育長 道徳に限らず、あらゆる教科で確実な回復、予定時間の確保を行っている。

夷藤 友達とのつき合い方がわからなくなってきた。道徳教育が非常に有意義であると思うがどうか。

教育長 物に依存すればするほど人間関係が希薄になっていく。家族や友達、人間のつき合いがなくなっていくことを危惧している。

夷藤 町でいじめの報告はあるのか。

夷藤 道徳教育の授業数は年間35時間で十分か。

教育長 学校からいじめの報告はある。各学校では未然に防止、早期発見の対応に努め、いじめのない楽しい学校づくりを目指している。ただ、発見することが困難なものもある。

教育長 授業時間としては不足している。学習指導要領では学校生活のあらゆる場面をとらえて、道徳教育を計画的に行なうことが定められている。

見ることが困難なものもある。



中川 達 議員

議会に経過説明がない

誘致に至らなかった 都市整備部長

中川 一昨年、インドIT企業の進出計画があったが、議会に経過説明がないため現況を聞く。

都市整備部長 アメリカ経済の悪化を受け誘致に至らなかった。議会への報告不備をお詫びする。

中川 福祉センターにホテル業者の進出があると聞くが状況を示せ。

副町長 個別の地区計画をたて、誘致活動を進めていく。

中川 先般から複数の誘致案件を聞くが、100万円の予算増額で具現化は可能か。

都市整備部長 案件の発生時に、迅速に対応するため計上した。

中川 耐震基準を満たさないほのぼの湯は、建替え案も浮上する中、急な料金改定は妥当か。

町民生活課長 周辺一体の見直しには時間がかかるため、現時点での料金改定をお願いした。

中川 シルバー人材センターでは、仕事がない会員がいると聞く。公平・安定化を図れ。

町長 できる限り仕事を見つけて出せるようにしていきたい。

中川 旅順口区と友好関係を結んだが、以前からの呉江市との関係をどう考えているのか。

町長 現在も交流が行なわれている。更に関係維持に努めていきたい。

格差の緩和を図れ

中川 金沢市と町とは畑地かんがい施設管理料に差がある。格差の緩和措置を図れ。

調査研究する

都市整備部長 現在赤字運営のため調査研究する。

中川 循環型農業推進事業に対して事業委託しているが方向性を聞く。

都市整備部長 「医・農・知」構想を基に、今後も啓発活動やラッキョウの栽培に取り組む予定。

中川 鶴ヶ丘地区にて地元特産物創出に向け取り組んでいると聞くが、事業概要を示せ。

産業振興課長 地元産物を使って商品化を業務委託し、製品化している。

中川 今年度、うまい米応援負担金について予算増額の理由を聞く。

都市整備部長 麦100%の給食パンを麦50%米50%とする。米粉加工のため、町が一部負担するためである。

中川 加工品は国内において偽装発覚の例もあった。ルートを示せ。

都市整備部長 地元産米を使用し、JAを通じて石川米飯で米粉化しパンにする予定をしている。



インド メイプルズ社への訪問（平成18年8月）

追跡

ありゃ～どうなったがいね～

定例会での一般質問のゆくえ

食生活は町の指導の一環だ

新たに食育予算が設けられている。もちろん、給食の質の向上が求められ、パン食、そして米飯と食を満遍よく考えられている。食の問題、安全も非常に重要。安心して食生活に携われることも町の指導の一環だ。

【平成20年3月議会 中川 達議員】

財政確保のため特別組織を

新規継続的歳入の確保するため、企業誘致、定住促進、交流人口の拡大を町の最重要課題に位置づけるべき。行政、民間、議会、企業などの機関で構成する特別組織を編成して集中的に取り組み。

【平成20年6月議会 南 和彦議員】

答 弁

食育推進計画の策定に向け努力する

平成22年3月に「うちなだ食育推進計画」を制定。今後は食育推進専門部会を設置し、関係機関の連携、ネットワークづくりを進め、家庭と地域に「食」の重要性に理解と協力を求めていく。



第2回食育大会(3月27日)

答 弁

早急に協議検討する

町は、20年11月に「企業誘致及び定住促進等推進委員会」を立ち上げ、翌年1月から定住促進奨励金制度を開始した。同年9月に、企業の進出に効果的な環境を作るべく、総合計画に基づいたプランをより具体的にするため、22年度から、企業立地推進担当部長を配置し迅速に推進していく。



生活環境の整備が進む白帆台(第3公園)

議会を傍聴しませんか

次の議会は**6月**に開催されます。傍聴の受付は、3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

議会録画をご覧ください

●町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ

<http://www.town.uchinada.lg.jp>



お詫びと訂正

議会だより第100号の12頁および22頁の内容に誤りがありました。右記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

《12頁 視察レポート》

【誤】 ふるさと未来づくり推進計画(北勢線)

【正】 ふるさと未来づくり推進計画(伊勢市)

《22頁 一般質問 写真キャプション》

【誤】 鶴ヶ丘小学校エコスクール取り組み発表

【正】 大根布小学校5年生のみなさんによるエコ活動の取り組み発表

突撃! あなたの声

街がどインタビュー

議員は町民のために

今回紹介する人は、向粟崎の中川 進さん(56歳)です。



中川 進さん(向粟崎)

◆内灘町に住んで何年になりますか?

○内灘生まれの内灘育ちで、小学生までは大根布、中学生から向粟崎に移り、現在も住んでいます。

◆小・中学校時代は、どんな遊びをしましたか?

○小学校のときは魚釣りや海水浴、友達とのビー玉遊びなどもつばら外で遊んでいました。中学校のときは野球の部活動に明け暮れていました。

◆当時と比べて町はどのように変わりましたか?

○当時は旧部落のみで人口も少なく皆顔見知りでした。今は新しい団地ができて上下水道も整備され発展しました。しかし、近所との付き合いが少なくなった気がします。

◆親しんでいる趣味やスポーツはありますか?

○2年前から家庭菜園を自宅の横で始めました。畑の世話は大変ですが、何よりも作物の成長が楽しみです。

◆家庭菜園を通じて得たものは?

○野菜作りの大変さと食の有難さを感じています。

◆内灘町の魅力や良いところは何でしょうか?

○日本でも有数の規模を誇る内灘砂丘と白山連峰が一望できる自然環境のすばらしさです。



お孫さんと一緒に

◆現在の町に望むことはなにかありますか?

○コミュニケーションバスの時間間隔や時間帯などを考慮し、利用促進をめざしてほしい。

◆議会を傍聴したことがありますか?

○一度だけあります。また、機会があれば傍聴してみたいです。議員は町民のためにモットーに頑張ってください。

インタビュー 清水 文雄

編集 後記

思い切り大きな声で「カマキリの卵見つけたぞ」

「大根だ」「桜の花」

遊歩道で花見にきた小学生たちが、宝物をみつけ小さな手のひらにそっとのせ、目を輝かしています。

「議会改革」として今定例会より新年度予算案を議会全員協議会の場で2日間審議しました。一般質問では一問一答方式を取り入れ、わかりやすいという感想も寄せられました。

議会だよりも、身近な「議会」になるよう取り組んでいきたいと思えます。

(北川 悦子)

発行責任者

議長 能村 憲治

副委員長 藤井 良信

委員 南 和彦

委員 清水 文雄

委員 北川 悦子

委員 生田 勇人

平成21年中に内灘町議会を傍聴された方は **225** 人です。

3月定例会	66人
6月定例会	56人
9月定例会	48人
12月定例会	50人
第1回～第5回臨時会	5人